

出雲崎町農業再生協議会水田フル活用ビジョン

1 地域の作物作付の現状、地域が抱える課題

当地域は、中央部に二級河川島崎川が南北に流れ、樹枝状にのびる支流に沿って帯状の耕地が点在している。水田面積が町全体の面積の約11%を占め、稲作主体の農業構造となっており、町内全域で慣行栽培に比べ化学合成農薬・肥料を5割減らした特別栽培米の栽培を実施し、環境に配慮した農業を全面的に推進している。また、土づくりの推進や確立された栽培方法の普及による高品質化とともに、徹底的なトレーサビリティに取り組んでいる。

販売農家は第2種兼業農家が多く、担い手の高齢化及び後継者不足が深刻となっている。

また、農業機械を個人で所有している比率が高く、コスト面で大きな負担となっていることが課題となっている。

2 作物ごとの取組方針

町内の約485ha（不作付地を含む）の水田について、担い手を核とした生産体制を確立し適地適作を基本として、産地交付金を有効に活用しながら、作物生産の維持・拡大を図ることとする。

（1）主食用米

需要に応じた「売れる米づくり」に向け、栽培基準に沿った高品質米の安定生産を引き続き推進するとともに、全品種において肥料及び農薬を統一し、特別栽培米の表示・販売ができる体制を作る。

また、共同乾燥調製施設（RC）を有効活用することで、乾燥調製作業の精度の向上と穀粒選別機や色彩選別機による整粒歩合の確保を図り、実需からの要望である品質の平準化と合わせ、出荷時期、包装容器の多様化（フレコン）に対応していく。

（2）非主食用米

ア 飼料用米

生産者の手取りを確保するため、主食用米に替わる重要な作物として位置づけ、水田活用の取り組みとして多収性専用品種の導入を進めながら生産の拡大を図る。

イ 加工用米

生産者の手取りを確保するため、主食用米に替わる重要な作物として位置づけ、高品質な加工用米を生産し、実需者への販売強化を図る。

また、多収性専用品種への取組についても今後、推進を検討する。

（3）大豆

現在は、各農家が個々に小規模の作付けを行っているが、関係機関の連携により大豆生産を行う担い手及び生産組織の育成を推進するとともに、ほ場の団地化や担い手への土地利用集積により、生産性の向上につなげ生産の拡大を図る。

(4) 野菜

ア アスパラガス（地域振興作物）

アスパラガスを地域重点品目に定め、積極的な支援を行い、生産性の向上により生産の拡大を図る。

イ その他野菜・山菜等

地産地消運動の展開を目指し、農産物直売所を軸とした売上増加と、学校給食への供給量拡大を図るため、アスパラガス以外のその他野菜等の作物生産への指導・推進を行う。

また、高齢化が深刻な状況となる中で、新規に栽培する生産者の掘り起こしと新たな品目の選定等を行い、関係機関が一体となり園芸作物の振興を進める。

(5) 果樹

ア 梅（地域振興作物）

梅を地域重点品目に定め、積極的な支援を行い、生産の拡大を図る。

イ その他果樹

適切な栽培管理を行い、安定した生産・販売量の確保を図り、農産物直売所を軸とした地産地消運動の展開を目指す。

(6) 花き等

地産地消の一環として、直売所等における安定した販売を図る。

(7) その他作物

地産地消運動の展開を目指し、農産物直売所を軸とした売上増加と、学校給食への供給量拡大を図るため、その他作物の作物生産への指導・推進を行う。

また、高齢化が深刻な状況となる中で、新規に栽培する生産者の掘り起こしと新たな品目の選定等を行い、関係機関が一体となり生産の振興を進める。

(8) 不作付地の解消

現行の不作付地について、地域振興作物のアスパラガス・梅やその他野菜等の作付けにより5年後までに3.8haの解消に向けて取り組む。

3 作物ごとの作付予定面積

作物	平成 25 年度の作付面積 (ha)	平成 26 年度の作付予定面積 (ha)	平成 28 年度の目標作付面積 (ha)
主食用米	332.66ha	328.36ha	324.00ha
飼料用米	0.77ha	1.68ha	2.00ha
加工用米	1.81ha	3.36ha	6.50ha
大豆	1.26ha	1.27ha	1.50ha
飼料作物	3.10ha	3.10ha	3.10ha
そば	1.86ha	1.66ha	1.50ha
その他地域振興作物	37.66ha	37.00ha	38.03ha
アスパラガス	0.25ha	0.26ha	0.27ha
その他野菜・山菜等	24.34ha	23.91ha	24.39ha
花き等	1.07ha	0.81ha	1.07ha
梅	2.94ha	3.00ha	3.18ha
その他果樹	8.37ha	8.27ha	8.37ha
雑穀・その他作物	0.69ha	0.75ha	0.75ha

4 平成 28 年度に向けた取組及び目標

取組 番号	対象作物	取組	分類 ※	指標	平成 25 年度 (現状値)	平成 26 年度 (予定)	平成 28 年度 (目標値)
1	大豆	団地化・担い手への集積による生産拡大	イ	団地化または担い手への集積面積	0.64ha	0.70ha	0.80ha
2	アスパラガス	地域振興作物としての生産拡大	ウ	販売面積	0.13ha	0.15ha	0.18ha
3	梅	地域振興作物としての生産拡大	ウ	販売面積	0.00ha	0.02ha	0.03ha

※「分類」欄については、要綱（別紙 11）の 2（5）のア、イ、ウのいずれに該当するか記入して下さい。

（複数該当する場合には、ア、イ、ウのうち主たる取組の記号をいずれか 1 つ記入して下さい。）

ア 農業・農村の所得増加につながる作物生産の取組

イ 生産性向上等、低コスト化に取り組む作物生産の取組

ウ 地域特産品など、ニーズの高い製品の産地化を図るための取組を行いながら付加価値の高い作物を生産する取組